

BIG BEN

- p1 会員主催のイベント・レポート
会議室で学ぶ西洋美術の楽しみ
- p2 領事便り：グリーンパークの息吹き
- p3 エッセー：日英のはざままで 第5回
- p3 活動報告：外務大臣表彰
- p4 日本クラブのイベント & 同好会の活動報告他
- p5 同好会案内／お知らせ

会員主催のイベント・レポート

会議室で学ぶ西洋美術の楽しみ

日本クラブが案内するイベントには、日本クラブが主催するもののほかに、会員の主催によるものの2種類がある。今回は、そんな会員主催イベントのなかから、過去20年超にわたり続いている西洋美術史講座にスポットを当てた。



美術館に行くのが楽しくなる話題が満載の座学

日本クラブ会員の西洋美術史家、笹山美栄氏が主催する西洋美術史講座は、2000年から続く人気講座のひとつ。スライドで画像を見ながら教室で学ぶ座学と、美術館・博物館見学の両面からのアプローチで、楽しくわかりやすい講座を展開している。コロナ禍ではオンラインでのみ開催されていた座学だが、今年から日本クラブ会議室での対面講座が再開した。

3月16日の夜に開催された講座は、「欧米のビジネスシーンで役立つ西洋美術史」シリーズからのひとコマ。西洋美術をひもとくことは、欧米社会の背景となる宗教観や精神性、考え方を概観することにつながる。このシリーズは、英国でのビジネスシーンに役立つ、そういった西洋社会の背景と、日々の会話のネタになるような美術館、博物館の成り立ちや創設者についても学べる構成となっている。

例えばこの日の講座では、ロンドンの美術館3館とロ

ンドン外の美術館も紹介。ダリッジ・ピクチャー・ギャラリー館内には創設者3人の墓所が設けられており、頼めば見学可能であること、ミラノにあるオリジナルの「最後の晩餐」よりも、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツにあるコピーのほうが、テーブル上の食事の内容やキリストの履いているサンダルなど詳細を観察できることなど、興味深い話題で溢れていた。

「オンライン講座には、どこにいても受講できるというよさがありますが、相互にコミュニケーションがとれるのは、やはり対面ならではの。また、スライドでは詳細を拡大して見られるよさがありますが、実物を見る喜びに勝るものはないですね。講座を通して、美術館に行く楽しみや、作品を鑑賞する楽しみが伝わったら嬉しいですよ」と笹山氏。今年は「ギャップの美術史」シリーズや「ルーブル美術館特集」も始まっている。1年をかけて制覇する「V&A装飾博物館見学」も開催中だ。オンラインと対面、座学と見学を、ライフスタイルに合わせて組み合わせながら西洋美術史を学ぶ好機と言えるだろう。



西洋美術史講座講師の笹山美栄氏

日本クラブの会議室は、さまざまな会員主催イベントに使用されています。イベントの企画に、また会議や会合にも、お気軽にご利用ください。
◆会員主催イベントのリストは、4ページをご覧ください。



令和4年10月1日現在の在留邦人数が公表されました。また、3月27日から領事手続きの電子化に向けた取組として、旅券、証明のオンライン申請と領事手数料のクレジットカード（デビットカード）によるオンライン納付が開始されましたので、それぞれご説明いたします。

1 在留邦人数統計

令和4（2022）年10月1日現在の英国在留邦人数は、在英國日本国大使館及び在エディンバラ日本国総領事館にそれぞれ提出されている「在留届」を基に、65,023人（前年比2.2%の伸び）となりました。内訳は次の通りです。

- 総 数：65,023人（前年比2.2%増）
- 長期滞在者：37,844人（前年比0.5%減）
- 永 住 者：27,179人（前年比6.1%増）
- Greater ロンドン：32,947人（前年比1.8%増）

外務省では正確な在留邦人数の把握に努めておりますが、特に日本へ帰国、第3国に移動された場合、帰国届、転出届が在留届を提出した在外公館に提出されていませんと、在外公館では帰国・転出された事実を把握できず、在留実態が反映されないままになってしまうこととなります。

つきましては、在留実態を反映した在留邦人数を把握するためにも、帰国届、転出届の提出を忘れずに行うよう皆様のご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

2 領事手続きの電子化に向けて（その3）*

3月27日（月）から、旅券、証明（一部の証明を除く）の電子（オンライン）申請を行うことが可能になりました。申請者は、これまで申請と交付の2回、大使館に出向く必要がありましたが、オンライン申請により、原則、交付時1回の来館で済むようになりました（なお、オンライン申請開始後も従来の用紙による申請は引き続き可能です）。

また、オンライン申請をご利用の際には、クレジットカード／デビットカードによる領事手数料のオンライン納付が可能



になりました（オンライン申請した場合でも、現金でのお支払いは引き続き可能です）。

オンライン納付の概要は次の通りです

- 1 円貨建て
- 2 利用可能なクレジットカード
VISA、MASTER、AMERICAN EXPRESS、DINERS、JCB
- 3 利用可能なデビットカード
VISA、MASTERがついたものに限ります。
- 4 決済手数料は外務省負担
- 5 海外発行カード利用の場合は、カード会社、取引銀行により、別途、手数料がかかる可能性がありますので、ご利用に際して予めご確認ください。
- 6 領事窓口へ決済端末は設置されません。
現時点では、オンライン申請した場合のみオンライン納付が可能となっておりますが、今後、従来の用紙による申請の場合でもオンライン納付が可能となるよう、現在、外務本省で検討を進めています。

また、今回のオンライン申請、オンライン納付の導入により、皆様の利便性向上が期待されますが、ご利用に際してお気づきの点等がございましたら、忌憚のないご意見を当館領事班までお知らせください。

ご意見等送付先

goikenbako@ld.mofa.go.jp

園部 健治（そのべ けんじ）

2022年3月着任。20年ぶり2度目の英国勤務。福島県出身。サンドイッチ、印カレーが好物でクリケット観戦が至福の時間。サンデーペーパーが日曜の娯楽。

*「領事手続きの電子化に向けて」は「びっぐべん」260号に、「領事手続きの電子化に向けて（その2）」は261号に掲載されています。バックナンバーも併せてご参照ください。

日本の博物館、美術館は時代遅れ？

今年の2月に久しぶりに日本に帰ってたくさんの博物館や美術館を訪れた。日本は未だコロナの規制が強く、どこに行ってもマスク着用が義務付けられ、検温、手消毒、2メートルの距離を置いて観賞とか、イギリスの美術館とは大分違う規制に戸惑った。

東京の赤坂にある小さな陶芸コレクションを展示する美術館に入ったときである。素晴らしいコレクションがあるのだが、規制がきついからなのか、あまり知られていないからなのか、お客は私とワイフだけだった。展示物を2人で話をしながら見ていたら、部屋にいた女性の案内係なのか警備員なのか分からないが、そばに寄ってきて「話をしないでください」と言う。「でも他に誰もいないじゃないですか」、「もし誰かが入ってきたら困ります。規定ですから」といった問答が繰り返された。写真撮影は禁止となっているので、私のワイフがスケッチブックにデッサンを描き始めたら、また件の女性が飛んできて、「ボールペンでのデッサンは止めてください」という。鉛筆なら良いと言う。理由を聞いたら、ボールペンはインクなので、飛んで作品に害を与える可能性があるからとのこと、万年筆や筆ならその可能性もあるかもしれないが、ボールペンのインクが使用中に飛んで行くななんて聞いたこともない。女性は規定だからを繰り返す。結局、その美術館は全然楽しめずに出た。まるで来て欲しくないような印象を受けた。

英国は日本と異なりほとんどの博物館や美術館が個人使用のための写真撮影を許可している。特にスマートフォンが普及してからは、誰もが簡単に写真を撮ること

ができるので、規制するのが難しくなっている。写真を撮った人はその写真を友人に見せたり、送ったりして、素晴らしかったと宣伝する。また、写真を見せてもらった人は実物を見たくて博物館に足を運ぶという効果が期待できる。博物館にとっては、出来るだけ多くの人に展示物を見てもらいたいのは、日本も英国も同じだと思う。その意味では写真を撮らせるのは最大の効果があるのではないだろうか。

日本の博物館では撮影禁止はコピーライトがあるからだと説明する。現代作家の作品にはコピーライトが存在するかも知れないが、100年も200年も前、或いは1000年も前のものにコピーライトがあるのだろうか。これはコピーライトでなく所有権の話なのではないのだろうか。展示物の所有者である博物館や個人のコレクターが写真を撮ってほしくないと言っているのだと思う。それならまだ納得がいくが、それでも、所有者が貴重なものを見せてあげるのだから、こちらの規制に従えという態度であれば、日本の博物館、美術館は時代遅れも甚だしい。

加藤 節雄 (かとう せつお)

ジャーナリスト。東京生まれ。35年間続けた「びつぐべん」の編集を2021年で引退し、現在はデボンとロンドンで執筆活動を続けている。英国に関する著書多数。多くの日英交流活動を手掛け、日本の外務大臣表彰、英国のMBE勲章などを受章している。



クト委員会副会長を務めるなど、日英交流を大きく推進してきた。

また、日英文化交流桜植樹プロジェクトは、民間主導の取組として2016年からこれまでに英国全

ヴィクトリア・ポーリック氏と桜植樹プロジェクトに外務大臣表彰
ヴィクトリア・ポーリック元下院議員・元ロンドン副市長、及び日英文化

交流桜植樹プロジェクトが、令和4年度外務大臣表彰を受賞。ポーリック氏は、ホランド・パーク内の福島庭園の開園やジャパンハウスロンドンの開設に尽力するとともに、桜植樹プロジェ

土に7000本以上の桜を植樹。日英間の友好関係の強化に貢献している。

表彰式は、1月31日、駐英国日本国大使公邸にて行われた。

(写真①② 在英国日本国大使館提供)

日本クラブのイベント & 同好会の活動報告他

ジン蒸留所見学バスツアーが開催

3月12日(日)、日本クラブ主催のジン蒸留所見学バスツアーが開催されました。朝9時前にロンドンを出発したバスは、一路ハンブシャーへ。ボンベイ・サファイア・ジンの蒸留所に到着すると、



42人の参加者が2班に分かれて見学の蒸留所に到着すると、

各自好みの香りで自作したジン・トニックを片手に同社に関するショートムービーを鑑賞。続いて専属ガイドに誘われ、巨大な銅製の蒸留器が設置された蒸留所を見学しました。同社のジンは、ジュニパーをはじめとする、10種類以上のハーブや香辛料、柑橘類による香りが特徴。ガラス張りのベル型の温室は、これらのハーブ類の爽やかな香りで満たされていました。近隣のパブでランチを堪能した後、足を延ばしてウィンチェスターへ。大聖堂やアーサー王伝説円卓の地をそれぞれ思い思いに散策。ジンのほろ酔い気分と、心地よい疲れを感じつつ帰途につきました。

日本クラブ主催のイベントカレンダー

* 日程変更の可能性
があります

- ◇ 4月 3日 日 医療関連セミナー
- ◇ 4月 24日 日 「食材・魚」テーマのセミナー
- ◇ 5月 12日 土 英国生活お役立ちセミナー (住居/車関連)
- ◇ 5月 13日 日 シティ散策ツアー 中央
- ◇ 6月 4日 日 日本クラブ年次ゴルフ大会
- ◇ 6月 25日 日* ナローボート乗船体験ツアー
- ◇ 7月 8日 日 シティ散策ツアー 南
- ◇ 7月 15日 日 シティ散策ツアー 東
- ◇ 8月 5日 日* リージェントカナル散策ツアー
- ◇ 8月 6日 日 ハマースミス日本庭園コミュニティイベント (ボランティア協力)
- ◇ 9月 9日 日* ワイナリー見学バスツアー
- ◇ 9月 16日 日 シティ散策ツアー 西
- ◇ 9月 27日 日* 「日英の教育・文化の違い」セミナー
- ◇ 10月 1日 日* ジャパン祭り
- ◇ 10月 1日 日* クリサンシマムカップ
- ◇ 10月 8日 日* ハマースミス日本庭園清掃ボランティア
- ◇ 10月 14日 日 シティ散策ツアー 北
- ◇ 10月 21日 日 グリニッジ散策ツアー
- ◇ 11月 11日 日 大英博物館ツアー

日本クラブ主催 英語・仏語教室 4月開講分締切間近

詳細はHP、および「びっぐべん」259号の記事をご参照ください。

交流会 & 同好会通信

テニス交流会

Westway Sports Centre のインドアコートで、月に1度土曜日の朝、練習会を開催しています。ストロークの後、ダブルスの試合形式でよい汗をかいています。随時メンバー募集中。



問 m.handa@nipponclub.co.uk

日本クラブ女声合唱団グリーンコーラス

2月中旬に Maida Vale にあるシナゴーク関連の老人クラブにてランチタイムコンサートを開きました。

第33回定期演奏会を6月24日(土)の午後、Grosvenor Chapel (www.grosvenorchapel.org.uk)にて開催予定です。詳細は5月に会場HPなどでお知らせします。ぜひお越しください。見学、入会などのお問い合わせ先は、次ページをご覧ください。



会員主催のイベントリスト

日本クラブの会議室では、以下のような会員主催のイベントが開催されています。

詳細は、それぞれの主催者に直接お問い合わせください。

オレンジズ&レモンズ ミュージアムや名所旧跡のみならず、身のまわりからも歴史の落とし物をつけてやろうという有志なるグループ。
 問 oranges.lemons5f@gmail.com (ハリス加津子)

肩の凝らないオペラ入門講座 ロイヤル・オペラやイングリッシュ・ナショナル・オペラで上演予定の演目を取り上げDVDを使って見どころ、聴きどころを解説。
 問 yoko.kaku.fogarty@hotmail.com (フォガティ洋子)

ロンドン西洋美術史講座 ※詳細は1ページをご参照ください。
 問 lah.london.uk@gmail.com (笹山美栄)

ワイン教室 「最初の一步を大切に」をモットーに、初心者からプロを対象にしたコース/講座をご用意。問 miyokoindatchet@gmail.com (ミヨコ・スティープンソン)

書道稽古会 小筆で仮名文字を書く稽古をしています。「いろは」から、ひと文字ずつ、ゆっくりと、稽古していきます。ご希望に応じ、漢字、実用書道、筆耕、硬筆の稽古も。
 問 yuki@yukikoayres.com (エアーズ由希子/書家名: 恵杏壽昌鶴)

チーズ講座 ヨーロッパのチーズを楽しむ講座やイベントを開催。
 問 kanako@cultureandculture.com (Culture & Culture)

紳士服お仕立て会 スーツからシャツまで、イージーオーダー仕立てを承ります。随時開催。☎020-8958-3427 / tailor.yamanaka@virgin.net (テーラー山中)

IIEL ことばのセミナー・講座説明 日本語教師養成課程、児童英語教師養成課程に関する説明および体験セミナー。問 enquiries@iel.org.uk (英国国際教育研究所)

IIEL 児童英語教師養成課程 自分の英語の発音や英会話力を強化しながら、最新の児童英語教育理論を学びます。問 enquiries@iel.org.uk (英国国際教育研究所)

Himemama (ひめま) LONDON 在英女性のワクワクを応援する新しいコミュニティ。随時イベント開催。問 london@himemama.com

日本クラブ理事の交代

- ◆ 副会長：宮田裕彦氏より中野行庸氏へ（ともに三井物産）
- ◆ 副会長兼書記長：森田考則氏より加藤修一氏へ（ともに伊藤忠）
- ◆ 副会長・日本人学校運営委員長：西田直敏氏より高木玲氏へ（ともに日立）
- ◆ 日本人学校運営副委員長：戸田真介氏より鈴木史郎氏へ（ともにみずほ銀行）
- ◆ 会員サービス・イベント副委員長：岡真司氏より原敬氏へ（ともにENEOS）
- ◆ 広報副委員長：上原裕之氏より大竹純氏へ（ともに日本航空）

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆ 月例会：開催中
- ◆ 会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆ 問い合わせ：☎07485 083663 (内柴洋一郎)
yo.uchishiba@btinternet.com
随時入会受付中（申し込みはHPから）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆ 例 会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆ 会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
(<http://ycbc.co.uk>) 見学者歓迎
- ◆ 問い合わせ：holbourne.sachiko@gmail.com

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆ 練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆ 会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆ 問い合わせ：londongreenchorus@gmail.com

日本クラブ囲碁会

- ◆ 例 会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆ 会 場：Inn of Court Pub 地下鉄Chancery Lane Exit 3より直進2分
- ◆ 問い合わせ：☎07956 594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用について

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。



地図はホームページの「日本クラブご案内図はこちら」をご参照ください。
www.nipponclub.co.uk

* 会議室の貸し出しをしておりますので、ぜひご利用ください。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre

5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ

* 平日午後6時以降と土曜日は会議室の利用状況により閉館することがあります。

TEL : 020 7921 9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜～金曜：午前10時～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 通学バス利用可

ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、日本の国語の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、ブレント、クロイドンの3校舎
- 小学部・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科



入学・転入学随時受付 TEL : 020 8993 7145

2023年広報委員会委員（4月1日現在）

- | | | |
|------|---------|----------------|
| 委員長 | ：篠田 航一 | （毎日新聞） |
| 副委員長 | ：大竹 純 | （日本航空） |
| 委員 | ：山尾 まゆ | （広報文化センター） |
| 委員 | ：園部 健治 | （領事） |
| 委員 | ：奥井 新吉 | （三菱UFJ銀行） |
| 委員 | ：甲斐 元和 | （伊藤忠） |
| 委員 | ：笹川 真理子 | （英国文化センター） |
| 委員 | ：安田 和代 | （KRess Europe） |
| 委員 | ：有地 芽理 | （英国日本婦人会） |

広報委員会の主なる任務は年4回発行される会報「びつぐべん」の編集・発行と、クラブのホームページの運営、その他一般的なクラブの広報・宣伝活動です。委員長は日本のメディア各社の代表が毎年交代で務め、その他の委員は毎年交代する人と継続して務める人がいます。

2023年3月帰任の先生

ロンドン日本人学校

- | | | |
|-------|-----------|--------|
| 森下 理香 | （もりした りか） | 教頭（三重） |
| 椿 智美 | （つばき ともみ） | 教諭（新潟） |
| 林 美佳 | （はやし みか） | 教諭（三重） |
| 白谷 祐史 | （しらや ゆうし） | 教諭（愛知） |
| 樋口 友香 | （ひぐち ゆか） | 教諭（大阪） |

ロンドン補修授業校

- | | | |
|-------|-----------|--------|
| 久保 康子 | （くぼ やすこ） | 教頭（山口） |
| 村田 健吾 | （むらた けんご） | 教諭（佐賀） |